

◆ 環境経済学演習 ◆



伊藤 康

この演習では、環境問題に対応するために実施される様々な環境政策の効果に関する文献を適宜サーベイしながら、参加者は環境政策に関する（実証）研究テーマを決定し、進捗状況を報告、その上で議論を行うことで、研究を進めてもらう。研究スタイルは、具体的な政策を掘り下げる事例研究でも、定量分析でも構わないが、どんなに小さなことでも新たな知見を提示することを目標としてもらいたい。

参考までに紹介すると、私の主たる研究領域は、「環境政策が技術開発・普及に与える影響」である。日本の高度成長期以降の環境政策を事例とすることが多いが、スウェーデンの環境政策（炭素税等）に関する論文も5本程度ある。また、最近では東日本大震災からの復興政策の問題点についても研究を行っている。興味があれば、伊藤康(2016)『環境政策とイノベーションー高度成長期日本の硫酸化物対策の事例研究』中央経済社、等を参考にされたい。